

コロナ乗り越え

日本公庫・県内企業レポート

8

「改めてお客さまに来て
いただけることのがた
さを感じた」。八戸市の靴
・履物卸小売業者「橋文」
の橋本博文社長(56)は語
る。県内に6店舗を構える
橋文は今年、創業150周
年の節目をコロナ禍の逆境
の中で迎えることになっ
た。橋本社長は会社の経営
理念である「店はお客さま
のためにある」を見つめ直

橋 文 (八戸市)

顧客に寄り添う靴選び



サンロード店(青森市)の売り場で商品を手にする橋本社長

し、「インターネット通販
にはない対面販売による付
加価値は何だろうか」と考
え続けている。
2020年4月、同社は
緊急事態宣言で店舗の休業

を強いられた。しかし、感
染対策を取った上で営業を
再開すると、顧客が少しづ
つ戻ってきた。コロナ禍で
歩く機会が減る中、足と靴
に対する人々の関心が逆に

高まり、より足に合った歩
きやすい靴を求めているこ
とに気付いたという。
社員に足のバランスを調
整するインソールやソック
スを試してもらったところ、
「疲れにくくなった」な
どの声が上がった。そこで、
靴選びを専門的にアドバイ
スする「シューフィッター」
が店舗に在籍する利点を生
かし、一人一人の足に合っ
た靴やインソールを顧客に
提案することを前面に押し
出すことにした。実際に履
いてもらうことで、より快

適な歩行ができることをア
ピール。足の状態によって
は専門医を紹介し、足の健
康への意識も高めている。
足の悩みが解決して顧客
が喜ぶ姿は、社員の意識に
も変化をもたらしている
という。橋本社長は「あなた
の足を楽しくするための
店づくり」に手応えをつか
んでいる。

橋文 1871年創業
の老舗靴・履物
卸小売業者。2008年に
橋本博文氏が社長に就任。
県内6店舗のうち4店舗に
シューフィッター資格保有
者計16名が在籍し、資格保
有者数は東北一の多さとな
っている。八戸市卸センタ
ー11の9の1

顧客の声に耳を傾け、地
域に必要とされる店づくり
に取り組む姿勢に、公庫と
しても魅力を感じており、
業界平均と比較した決算分
析資料を提供しながら、経
営方針についてアドバイス
している。コロナを乗り越
え創業200周年につなげ
てほしいと強く願う。
(日本政策金融公庫青森支
店中小企業事業上席課長
代理・澤田悠)

〓 終わり 〓